

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 3月 1日

事業所名 放課後デイ アネーラ

評価: 個人評価後、項目ごとに意見交流をして共通理解を図り、事業所総意の評価とした。 (職員6人)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善内容又は改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広さの基準は満たしている。学習と活動スペースを分け、安全・安心して取り組めるように支援している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全面と個別支援をする上で、利用者2人に対して職員1人以上と、指定基準以上に配置している。
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		マンションの既存の設備を利用。エレベーターは完備している。適宜、職員の手添え等の支援・付添・見守りに心がけ、安全への配慮に努めている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全職員で業務内容・支援のあり方を振り返り、常に報連相に心がけ、共通理解の下、協働して療育に当たっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本年度は1月に実施。結果や今後の方向性について報告し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向け評価表同様、事業所のホームページで公開し、閲覧可能である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は未実施のため、今後の検討課題である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修、外部研修への積極的な参加や自己研鑽により専門性の向上に努めている。最新情報を回覧している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		児童と保護者のニーズ・課題を分析した上で、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返して計画の作成・実施をし継続的に改善している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事務所のアセスメント項目表を利用している。心理検査の情報は、保護者より提供を受けている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			原案をもとに、職員打ち合わせで、個に適した支援計画を週・月単位で作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別・集団課題に沿って、様々な活動を組み合わせて実施している。土曜・祝日・学休日等は、公共施設・民間施設等を利用し、多様な活動の提供に努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			土曜・祝日・学休日等は、戸外活動の充実・交流に努め、民間施設見学、公共施設利用等、集団行動の仕方も学んだり、社会適応能力を養ったりしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・集団の活動内容を個の実態・ニーズに応じて検討し、計画に反映させている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の確認、役割分担等、必要事項について周知を図り、支援に取り組んでいる。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	○			記録簿に記載。翌日、記録を基に打合せを行い、情報共有し、支援に活かしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ヒヤリハット事例や事故報告書は翌日朝までに作成。各種記録簿にも目を通し、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月ごとに個別支援計画を作成し、保護者と面談し、必要に応じて見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		基本活動に偏りがなくバランスが取れるよう、多様なプログラムの提供に努めている。利用時間が短い時は難しい。
との 連携 関係 や 保護 者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議は行われていない。相談支援専門員が療育の様子を見学する時に、主に管理者・児発管が、様子・変容等を伝え、情報の共有を行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校に迎えの場合、担任から様子を引き継ぐこともある。年間計画・行事予定・下校時刻等は、保護者からの情報や学校・学級通信、学校のホームページを参照している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善内容又は改善目標、工夫している点
関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者は受け入れていない。てんかん発作等、配慮が必要な子どもは、保護者との連絡を密にしている。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	小学校1年生からの利用者については、今後、幼保から情報提供を受けたいと考えている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供しているか			○	他の放課後等デイに行く場合は、情報を提供している。これまで、高等部卒業生が不在で、福祉サービス事業所へ移行する該当者はいない。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	保護者の相談内容により、専門機関を紹介。事業所が把握している事柄は、専門機関に情報提供
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園では、幼児児童とのふれあい・遊びの交流をし、保護者・地域住民との関わりもある。公共・民間施設では、一緒に空間を過ごすことを大切にしている。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	岐阜県・岐阜市障害福祉課との連絡は密にしているが、協議会への参加はしていない。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所での出来事や職員が気づいたこと等を口頭や書面で知らせる情報共有し、子どもの状況や課題について、共通理解に努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	子育てについての個別相談は常時行っているが、具体的なトレーニングの支援は行っていない。
保護者への責任説明等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	契約時に説明をしている。内容変更がある場合は、その都度書面で伝えている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談は随時実施。日々の送迎時や面談、連絡ノート等を通して発達の状況、課題等の情報交換をし、共通理解を図れるよう努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	療育中の「保護者会」開催は無理である。子どもと一緒に参加する「お出かけイベント」を計画し、保護者間の交流を呼びかけている。参観は随時実施している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応マニュアルに沿って、職員間で詳細を確認し、面談や電話等にて迅速かつ適切に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページの開設に向け、準備を進めている。2月中には開設予定。日々の支援、活動の様子等が伝わるように情報発信していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			守秘義務の一環として、細心の注意をする等、職員で共通理解をしている。ホームページ開設に伴い、個人情報取扱により慎重を期す。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			寄り添い、思いを受け止め、認め励ますことを大切に自己肯定感を高めたい。連絡帳や送迎時の会話、電話、SNS、メール等でコミュニケーションに努める。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			招待は行っていないが、平日は公園で一緒に清掃活動をしたり触れ合ったりするなど交流に努めている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	必要なマニュアルは完備している。定期的に見直しを行い、情報周知に努めている。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、定期的に避難訓練を実施。今後も様々な事態(火事・地震・洪水等)を想定して訓練をしていく。
	④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修会等に参加している。報告・回覧し、情報共有に努め、協働で対応している。
	④⑬	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			マニュアルを完備している。身体拘束と誤解されかねない移動中の「手つなぎ」については、書面で保護者が署名・捺印し、了解を得ている。人権侵害に当たる身体拘束の事例は、1件もない。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無を確認。医師の指示書及び保護者からの情報に基づいて、対応している。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その都度、記入している。ファイリングし、職員間で情報共有し、再発防止に努めている。